

京都工芸繊維大学生協 入学準備説明会



[新学期]

取り組み概要

日時：2月23日、3月19日、25日
場所：京都工芸繊維大学
参加者数や組合員の反応：
全日程で計650名が参加

背景や概要：入学前の不安を解消し、充実した大学生活を送れるよう、新入生と保護者を対象に開催された。説明会や説明会後の個別相談を通して工織生の大学生活や大学生協について伝えていた。

入学のその先も想像できるように

POINT.1

参加者への心遣いは説明会前後にも



京都工芸繊維大学生協の入学準備説明会は全回、対面での開催でした。肌寒い季節の開催だったため、受付では参加者一人一人に資料とともにカイロを配布する心遣いが見られました。

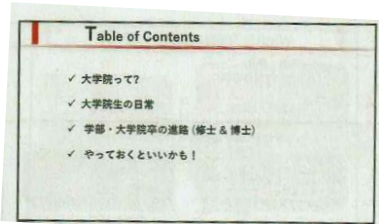
また、説明会開始前には学生委員が作成した、各課程の紹介動画が流されていました。各課程の時間割や専門授業について紹介があり、参加者は説明会の開始を楽しみながら待つことができました。この動画は説明会終了後、学生委員会が運営するTwitterで公開し、説明会に参加できなかった新入生も大学生活について知ることができました。

POINT.2

理系単科大学ならではの内容

説明会の中では、大学院についてのお話もありました。大学院とは？という話から、大学院生の1日や卒業後の進路の話まで、大学院生の先輩から詳細に紹介がありました。

京都工芸繊維大学は理系単科大学であり、学生の約7割が大学卒業後大学院へ進みます。多くの学生が大学院へ進学するという京都工芸繊維大学の特徴に合わせた内容を取り扱い、入学前の早い段階から将来について考える機会を提供できていました。



POINT.3

入学前の疑問や不安は直接相談



説明会終了後は、ブースを設け新入生や保護者と個別相談を行いました。ブースはPCや共済、住まいに加え、学生委員による学生相談が用意されていました。学生委員のブースでは、学生委員が実際に使用している教科書やノート、課題での作成物を展示していました。会場は、生協職員にPCや共済に関して相談する保護者や学生委員に大学生活への不安や疑問を相談する新入生でとても賑わっていました。

説明会終了後に直接交流できる場を設けることで、入学前の不安を解消し大学生活をさらに楽しめるよう工夫されていました。